

夏には水草への影響調査が必要であると考えている。

以上のような経過で、竜が丸池の水草も工事関係者の理解と配慮によって何とか工事による影響を最小限にとどめられたと考えている。

四国横断自動車道は讃岐山脈の山麓を削って東に向かって急ピッチで進められ、現在萩原の池周辺も工事が行われている。2001年2月に池の様子を見に行ったところ、周辺の山が削られ、池の横に進入路がつけられている。泥水が池に流入しないように排水管を埋めてそれなりの配慮がなされていたが、池の水は土砂の流入によって白く濁り、以前の生育環境からはかなり悪くなっている。工事前には出水口にたくさん見られたイヌタヌキモの姿は今回殆ど確認できないので、今後かなりの影響が出るのではないかと心配している。(図4)

徳島県の高速道路は讃岐山脈の麓を東西方向に造成された。道路の大部分は用地買収等の経済的な理由で人家の少ない山麓部の標高の高い所に造られている。その沿線には、小さな谷をせき止めた灌漑用ため池が点在している。それらの池は三方が二次林などの樹林に囲まれていて、人間生活の影響を受けることが極めて少ない。そのため水質は汚染されにくいので、果樹園や人家に近いため池に比べて貴重な植物が残っていることが多い。



図4. 道路工事の影響が心配されるため池

そのような多くの池が道路工事の影響を受けたことや、高速道路の造成に関連して、その周辺の老朽化した灌漑用ため池の改修を地域の住民が公団に要望するなどして工事が実施されるために、そこに生育していた貴重な水草が消滅してしまったものも多く、現在もなおそのような状況は進行中である。また、オニバスやコウホネ類の生育環境である平地の水路も用水路の改修により多くが消滅し、改修工事は止まることなく行われている。徳島県においては、現存している貴重な水草の生育環境を保護することは緊急の課題である。水草研究会のご支援・ご指導をお願いする次第である。

第21回全国集会 (倉敷)

榎 本 敬 (岡山大学資源生物科学研究所)

1993年に岡山県水草研究会を結成して、県内の水草とその環境の調査を開始しました。岡山県南部に重点をおいて調査をし、1995年までに1,768地点が調査でき、「岡山県水草目録」、「岡山県南部において絶滅が危惧される水草の種類と分布」、

「岡山県南部における水草の分布と環境」、「くらしき水草」などとして、まとめることができました。さらに、調査地域を岡山県全域に広げて活動しており、水草に関しては素人だった多くのメンバーも7年もため池巡りをしているうちに、か

なりレベルが上がったかなと思っていた1999年に水草研究会の全国集会を倉敷で引き受けることになりました。

8月20日(金)と21日(土)の平日の開催だったため、参加して頂きにくいのではないかと心配しておりましたが、倉敷が観光地としても有名なためか、127人もの方が参加してくれました。

初日の講演会は9題でした。加崎英男先生の「今シャジクモが危ない」というご講演はシャジクモが豊かだった時代から研究が続けられている先生ならではの説得力のあるものでした。「くらしきの水草」という出来たてのカラーの小冊子をお配りできたことをよこんでいます。

懇親会も講演会と同じホテルだったため、便利ではありましたが、観光に出かけにくかったかもしれません。

翌日のエクスカッションは岡山県水草研究会の会員の総力を結集してのご案内でした。まず、倉敷川の河川敷に残っているミズアオイを見ていただきました。倉敷市の協力の下に、かろうじて生き続けているものです。

次はヒメシロアサザを見学しました。倉敷市や岡山市ではヒメシロアサザは水田雑草として生育しており、種子繁殖も盛んです。スズメノハコベが残っているのも岡山県ではここだけでした。

次は日本では倉敷で最初に発見されたアメリカコナギ(*Heteranthera limosa*)を見学に倉敷川橋まで行きました。岡山市、倉敷市では今なお、やっかいな雑草です。初めてみられた方も多かったと思います。付近に生えていたヒメタデも岡山県ではめずらしいものです。岡南飛行場近くにはイトクズモの生えている水路があり、工事との関係で一部を保護している場所も見学していただき

ました。この場所のイトクズモは夏場は枯れてしまうため、かろうじて残っていた少しいの個体の観察となりました。

昼ご飯を兼ねて、岡山市の後楽園に入りました。ここは最近新種として発表されたミズニラモドキ(*Isoetes pseudojaponica* Takamiya)の模式産地です。花菖蒲園の雑草として扱われていた植物が新種だったとは驚きです。

次は備前市に移動し、内湾の奥にある汽水湖周辺を調査しました。目玉はチャボイ(*Eleocharis parvula*)でした。第1発見者は宮部満氏です。私はチャボイを水草に入れたいと思います。その後、笠岡市でも発見しました。目立たない草なので見過ごされているのかもしれませんが、カワツルモは多量に群生していました。長靴を履いた多くの人間が水たまりやたんぼの畦を行き来するのを農家の方々は不思議そうに見ていました。

最後はオニバスが群生する岡山市の青津池に寄って、予定通りに岡山駅で解散いたしました。この度の全国集会に大原奨農会、倉敷市より助成金をいただきました。ここに記してお礼を申し上げます。



写真1. ヒメシロアサザ自生地の観察風景